

基腐病をはじめとする土壌病害対策チェックリスト

	場所	対策	チェック
持ち込まない	苗床	苗床の消毒（殺菌効果のある薬剤を使用）	
		健全な種芋の確保 ・ 正式な販売店から購入した苗を使用 ・ 定期的にウイルスフリー苗、バイオ苗を導入して更新する	
		種芋の消毒を実施（トップジンM水和剤200～500倍液に30分浸漬 ）	
		生育や葉色に異常がみられた株の除去 （種芋ごと速やかに苗床外に持ち出し適切に処理）	
	苗床・本ぽ	苗の消毒をしてから定植 ・ ベンレート水和剤の場合は500～1000倍液で30分浸漬 ベンレートT水和剤20では200倍液で30分浸漬	
増やさない	本ぽ	排水対策を実施 （排水路の点検、排水口方向に勾配をつける、明渠を施工し排水路に繋げる、枕畝の植付けを控える等）	
		生育期における異常株の早期発見と抜き取り	
		殺菌剤の予防散布 登録農薬：＜畝立て前＞ フロンサイドSC 500ml/10a(全面土壌混和・散布) フロンサイド粉剤 40kg/10a（全面土壌混和） フリントフロアブル25 10倍、125倍、250倍（全面土壌混和・散布） ＜畝立て後＞ ※苗消毒の効果が切れる定植5週目以降から散布 アミスター20フロアブル2000倍液、トリフミン水和剤2000倍液、 フロンサイドSC1000倍液、ジーファイン水和剤1000倍液（銅） Zボルドー500倍液（銅） 等	
残さない	本ぽ	残渣の早期処理 （分解促進のために地温の高い時期（～11月中旬）に残渣を細かく裁断）	
		本圃の土壌消毒を実施（殺菌効果のある薬剤を使用）	

※フリントフロアブル25を使用した場合は、耐性菌の発生リスクが高まるので
同一系統のアミスター20フロアブルは使用しない。

- 今後のサツマイモ栽培を行う際に活用ください！チェックが多いほど
土壌病害の発生リスクが低くなります。